

高等学校商業科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 普通銀行などの金融機関が預金者から集めた預金等を、企業が借り入れる方法で事業資金を調達する仕組み。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6
	(1) $\$ 850 \times 0.8 = \$ 680$ $\yen 122.54 \times \$ 680 = \yen 83,327$	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
	2 (2) 5月の残り日数：31日－24日＝7日（初日片落とし） 7日（5月）＋30日（6月）＋31日（7月）＋5日（8月）＝73日（利息） $\yen 1,825,000 \times 0.035 \times (73 \div 365) = \yen 12,775$ （元利合計） $\yen 1,825,000 + \yen 12,775 = \yen 1,837,775$	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
	3 (工)		4
	4 (1) 仕入諸掛 (2) 見込利益額	値入額、利幅、粗利益 もよい。	各6×2
2	課題研究の成果について発表する機会を設けるようにすること。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
3	1 広告やパブリシティにより、消費者が商品を指名買いするように仕向けるコミュニケーション戦略のこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	(1) 衰退期		5
	2 (2) ・選定した市場に、自社の製品が適していない場合、ターゲットとなる市場を製品の販売動向などに合わせて修正する。 ・製品を認知しているが購入していない消費者に対して、自社の製品を購入しない理由を分析し、対策を講じることにより、自社の製品の常得意を増加させることができる。 ・製品の新しい用途を提案する。 ・環境問題を重視して改良したり、トレンドに合わせたスタイルの変更、処理速度などの性能の向上を意識して製品の改良を行う。	1つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	7
			22

高等学校商業科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点																
4	1 ある事業のために他人を使用する者は、その被用者が事業の執行について第三者に加えた損害を賠償しなければならない。使用者に代わって事業を監督する者も同様である。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	1.0																
	2 気付き 売上を最大にすることを考えて選択した結果は、結局、売上が下がってしまうという価格設定のむずかしさ。 記述例 他店が「値下げ」をした場合、自店の売上高が40と低下することから、他店の「値下げ」を警戒し、「値下げ」を選択することで、売上高を高くしようとする。しかし、両店とも「値下げ」を選択した場合、両店の売上高は、80となってしまう。 結局、両店とも自店の売上を最大にすることを考えて「値下げ」を選択するものの、売上高が下がってしまうことが分かった。 このようなことから価格設定には、利潤の追求、消費者や競合店の動向など、様々な要素が複雑に絡みあっているため、価格を設定することは、むずかしいと感じた。	気付きと記述例がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	2.6 1.6																
5	1 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>金額</th> <th>貸方</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建 物</td> <td>20,095,000</td> <td>建 設 仮 勘 定</td> <td>12,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>当 座 預 金</td> <td>5,095,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>未 払 金</td> <td>3,000,000</td> </tr> </tbody> </table>	借方	金額	貸方	金額	建 物	20,095,000	建 設 仮 勘 定	12,000,000			当 座 預 金	5,095,000			未 払 金	3,000,000	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	借方	金額	貸方	金額															
	建 物	20,095,000	建 設 仮 勘 定	12,000,000															
			当 座 預 金	5,095,000															
			未 払 金	3,000,000															
2 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>金額</th> <th>貸方</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸 倒 引 当 金</td> <td>140,000</td> <td>売 掛 金</td> <td>240,000</td> </tr> <tr> <td>貸 倒 損 失</td> <td>100,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	借方	金額	貸方	金額	貸 倒 引 当 金	140,000	売 掛 金	240,000	貸 倒 損 失	100,000			内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5					
借方	金額	貸方	金額																
貸 倒 引 当 金	140,000	売 掛 金	240,000																
貸 倒 損 失	100,000																		
3 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>金額</th> <th>貸方</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受 取 手 形</td> <td>1,600,000</td> <td>買 掛 金</td> <td>900,000</td> </tr> <tr> <td>備 品</td> <td>2,000,000</td> <td>現 金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>の れ ん</td> <td>300,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	借方	金額	貸方	金額	受 取 手 形	1,600,000	買 掛 金	900,000	備 品	2,000,000	現 金	3,000,000	の れ ん	300,000			内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	
借方	金額	貸方	金額																
受 取 手 形	1,600,000	買 掛 金	900,000																
備 品	2,000,000	現 金	3,000,000																
の れ ん	300,000																		
4 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>金額</th> <th>貸方</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当 座 預 金</td> <td>1,050,000</td> <td>売 上</td> <td>650,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>受 取 手 数 料</td> <td>48,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>受 託 販 売</td> <td>352,000</td> </tr> </tbody> </table>	借方	金額	貸方	金額	当 座 預 金	1,050,000	売 上	650,000			受 取 手 数 料	48,000			受 託 販 売	352,000	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	
借方	金額	貸方	金額																
当 座 預 金	1,050,000	売 上	650,000																
		受 取 手 数 料	48,000																
		受 託 販 売	352,000																
5 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>借方</th> <th>金額</th> <th>貸方</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仕 入</td> <td>500,000</td> <td>受 取 手 形</td> <td>360,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>買 掛 金</td> <td>140,000</td> </tr> <tr> <td>保 証 債 務 費 用</td> <td>7,200</td> <td>保 証 債 務</td> <td>7,200</td> </tr> </tbody> </table>	借方	金額	貸方	金額	仕 入	500,000	受 取 手 形	360,000			買 掛 金	140,000	保 証 債 務 費 用	7,200	保 証 債 務	7,200	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5	
借方	金額	貸方	金額																
仕 入	500,000	受 取 手 形	360,000																
		買 掛 金	140,000																
保 証 債 務 費 用	7,200	保 証 債 務	7,200																

高等学校商業科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答〔例〕				採 点 上 の 注 意	配 点																																																															
6	<p style="text-align: center;">組別総合原価計算表 平成〇年〇月分 〔単位：円〕</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 20%;">摘 要</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">A 組</th> <th colspan="2" style="width: 30%;">B 組</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">素材費</th> <th style="width: 15%;">加工費</th> <th style="width: 15%;">素材費</th> <th style="width: 15%;">加工費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月初仕掛品原価</td> <td style="text-align: right;">512,500</td> <td style="text-align: right;">(1,112,500)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>当月製造費用</td> <td style="text-align: right;">2,120,000</td> <td style="text-align: right;">(7,000,000)</td> <td style="text-align: right;">4,770,000</td> <td style="text-align: right;">(3,000,000)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">(2,632,500)</td> <td style="text-align: right;">(8,112,500)</td> <td style="text-align: right;">4,770,000</td> <td style="text-align: right;">(3,000,000)</td> </tr> <tr> <td>月末仕掛品原価</td> <td style="text-align: right;">(795,000)</td> <td style="text-align: right;">(1,200,000)</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>完成品原価</td> <td style="text-align: right;">(1,837,500)</td> <td style="text-align: right;">(6,912,500)</td> <td style="text-align: right;">4,770,000</td> <td style="text-align: right;">(3,000,000)</td> </tr> <tr> <td>製 品 単 価</td> <td style="text-align: right;">(2,625)</td> <td style="text-align: right;">(9,875)</td> <td style="text-align: right;">7,950</td> <td style="text-align: right;">(5,000)</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">仕 掛 品 〔単位：円〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">月 初 有 高</td> <td style="width: 15%;">(1,625,000)</td> <td style="width: 30%;">A 組 製 品</td> <td style="width: 25%;">(8,750,000)</td> </tr> <tr> <td>素 材 費</td> <td>(6,890,000)</td> <td>B 組 製 品</td> <td>(7,770,000)</td> </tr> <tr> <td>直 接 労 務 費</td> <td>(4,000,000)</td> <td>月 末 有 高</td> <td>(1,995,000)</td> </tr> <tr> <td>製 造 間 接 費</td> <td>6,000,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">(18,515,000)</td> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">(18,515,000)</td> </tr> </tbody> </table>				摘 要	A 組		B 組		素材費	加工費	素材費	加工費	月初仕掛品原価	512,500	(1,112,500)	—	—	当月製造費用	2,120,000	(7,000,000)	4,770,000	(3,000,000)	計	(2,632,500)	(8,112,500)	4,770,000	(3,000,000)	月末仕掛品原価	(795,000)	(1,200,000)	—	—	完成品原価	(1,837,500)	(6,912,500)	4,770,000	(3,000,000)	製 品 単 価	(2,625)	(9,875)	7,950	(5,000)	仕 掛 品 〔単位：円〕				月 初 有 高	(1,625,000)	A 組 製 品	(8,750,000)	素 材 費	(6,890,000)	B 組 製 品	(7,770,000)	直 接 労 務 費	(4,000,000)	月 末 有 高	(1,995,000)	製 造 間 接 費	6,000,000				(18,515,000)		(18,515,000)	<p style="text-align: center;">□ で囲った部分 を採点する。</p>	各 5 × 5
摘 要	A 組		B 組																																																																		
	素材費	加工費	素材費	加工費																																																																	
月初仕掛品原価	512,500	(1,112,500)	—	—																																																																	
当月製造費用	2,120,000	(7,000,000)	4,770,000	(3,000,000)																																																																	
計	(2,632,500)	(8,112,500)	4,770,000	(3,000,000)																																																																	
月末仕掛品原価	(795,000)	(1,200,000)	—	—																																																																	
完成品原価	(1,837,500)	(6,912,500)	4,770,000	(3,000,000)																																																																	
製 品 単 価	(2,625)	(9,875)	7,950	(5,000)																																																																	
仕 掛 品 〔単位：円〕																																																																					
月 初 有 高	(1,625,000)	A 組 製 品	(8,750,000)																																																																		
素 材 費	(6,890,000)	B 組 製 品	(7,770,000)																																																																		
直 接 労 務 費	(4,000,000)	月 末 有 高	(1,995,000)																																																																		
製 造 間 接 費	6,000,000																																																																				
	(18,515,000)		(18,515,000)																																																																		
7	(1)	エ		各 4 × 6	24																																																																
	(2)	ア																																																																			
	(3)	イ																																																																			
	(4)	ク																																																																			
	(5)	ウ																																																																			
	(6)	ケ																																																																			

高等学校商業科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点
8	学習活動	指導上の留意事項		30
	<p>1 本時の学習内容を確認する。</p> <p>2 企業の活動や組織体、経営理念等に係る知識を習得する。</p> <p>3 A社の経営理念をもとに、企業の経営理念について企業が大切にしていることを考察する。</p> <p>① A社の掲げる3つのコーポレートビジョンに順位を付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えたのち、グループで協議し、まとめる。 ・各グループが考えた内容をクラス内で発表する。 <p>② 具体的な2社について、各社の掲げる経営理念について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人でWeb ページから各社が大切だと考えていると思われる企業理念の項目等を確認する。 <p>・各社の経営理念について大切にしていることと、その理由についてグループ内で考え、まとめる。</p> <p>・各グループが考えた内容をクラス内で発表する。</p> <p>4 企業の経営理念について考察したことから、企業にとって経営理念の大切さや経営理念に込められていること、さらに企業の果たしている役割について、各自ワークシートにまとめる。</p> <p>5 本時のまとめと次時の確認を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は、企業の経営理念について学習することについて確認させる。 ・ワークシートにまとめさせる。 ・資料は、3つの項目の順位は伏せて生徒に提示する。 ・ワークシートに個人の意見を書かせ、その意見を持ち寄せグループ内で協議させる。 ・順位のみでなく、理由についても発表させる。 ・A社及びWeb ページで調べる2社の経営理念について調べさせ、共通点に着目させる。 ・経営理念と企業の様々な活動に係る情報をWeb ページで収集させ、それらをもとに企業が大切にしていることについて、自分の考えをワークシートにまとめさせる。 ・自分の考えの根拠を明確に示して発表させる。 ・他の人の発表についてワークシートにメモを取らせる。 ・各グループから出された様々な考えをカテゴリーに分け、白板に整理する。 ・ワークシートや白板に整理した内容等をもとに、経営理念の大切さについて自分の考えをワークシートにまとめさせる。 ・本時の学習について自己評価させる。 ・次時は、様々な業種や時代の経営理念について分析することを確認させる。 		